

## 編集後記

この論文集も今回で第4回目を迎える。世間に少しずつ知られるようになり、公の機関からもバックナンバーの請求がくるようになった。この号から「研究ノート」の欄が現れている。これは、論文とまではいかないが、何か小さい問題について考えてみたことを報告するところである。今回の5編は、いずれも日ごろの授業のときのレポートに磨きがかけられたものである。指導に当たられる諸先生にお願いしたいと思うが、質のよいレポートが現れた際には研究ノートとして応募するようにお勧めをお願いしたい。学生にとっては修士論文執筆のためのよい準備となるはずである。

編集委員 国広哲弥

## 投稿要領

締切：9月末日。

分量：(論文)400字で50枚以内。

(研究ノート)400字で30枚以内。

提出先：編集委員(原稿の状態などをチェックする必要があるので、できるだけ本人から直接に手渡すこと)。

和文原稿には英文のタイトルを付けること。

完全原稿を提出すること。校正時の加筆は認めない。

原稿には下記を書き入れること。

連絡先：住所、電話番号。

身分：専攻、課程、修了年次、在学年次。

神奈川大学大学院  
言語と文化論集 第4号

1998年1月16日 印刷

1998年1月20日 発行

編集発行 神奈川大学大学院  
外国語学研究所  
(横浜市神奈川区六角橋3-27-1)

制作 (株)昭和工業写真印刷所